

新人職員研修 プログラム

育成方針・目的	<p>1.しおかぜに入職する職員が、しおかぜの法人理念や方針を学び、求められる役割を理解し、しおかぜの職員である意識が持てるようにする。</p> <p>2.入職後に必要な知識や視点、考え方を学び、スムーズに業務に移行できるようにする</p> <p>3.個々のペースに合わせたOJTを通して、専門的な知識や技術を身につける</p>
---------	--

対象者	新社会人等
-----	-------

法人として必要なもの	内容	時間
しおかぜについて(理事長)	1日目に実施	1h
就業規則について	1日目に実施	1h
就業の心得・接遇・個人情報について	1日目に実施	1h
入職時検診	1日目に実施	1h
地域支援について	1日目に実施	1h

講義	内容	時間
★感染症・食中毒について	食中毒については栄養士にってもらう	感:1h
		食:30m
認知症について	認知症サポーターの内容・動画	1h30m
★高齢者虐待・身体拘束について	高齢者虐待と身体拘束は分けて行う	1h
	身体拘束は、グレーゾーンについても伝える	1h
★事故防止について	危険予知について	1h30m
看取りについて	看取りとは・看取り期の状態など	1h
介護保険について	福祉サービスの種類も一緒に行う	2h
加齢による心身の変化について	高齢者疑似体験も一緒に行う	1h30m
本人の気持ち・家族の気持ち I	体験談や手記、映像等を使用 思いを引き継いで、自分達がサービスを行うことを伝える	1h30

介護技術	内容	時間
車椅子・ベッドの使い方	どういった方に、どういう車椅子が必要か？	2h
移乗	ボード(臥床時・車椅子移乗) 人の力での移乗(座位・臥床)	3h
排泄介助	羞恥心への配慮・観察点・パンツとパット・オシメ交換・陰洗	2h
更衣	上着(前開き・かぶり) ズボン 座位・臥床時	2h
入浴介助	羞恥心への配慮・観察点・温度差 未入浴時の保清(手浴・足浴・清拭等) 日曜日に浴室を使用して行う(介助・リフト・特浴)	3h
食事介助	介助方法・姿勢 食事形態の説明と試食・栄養補助飲料の 試飲 トロミの使用法(温度・水分の 種類・量を変えて実験する)	3h
声かけ	距離感・表情・姿勢など 介護技術の最初に行う	1h
記録	簡単なほのぼのの説明	1h

その他	内容	時間
事業所見学	特養 しおかぜ	4h
	琴浦園	
	陽だまりの家	
	やすらぎの家	
	デイ城山	
	デイ下津井	
	アクアジム	
	介護相談	
	訪問ヘルパー	
	お台場	
こども園		
交流・レクリエーション	息抜きや職員とのコミュニケーションが図れる時間の確保	1h
ユニット体験	ユニット業務開始前の心の準備	1h

3か月研修

講義	内容	時間
地域活動	地域のサロンへの参加	1h
介護技術の振り返り	苦手な部分など振り返る	1h
振り返り	3か月の振り返り 今の自分を考える 目標設定	1h
整容	モーニングケア・口腔ケア・爪切り・耳掃除等	1h
ユニットケアについて・事業所の役割	ユニットケアとは何か	1h
防災・感染対策について	いざというときの対策方法について	1h

6か月研修

講義	内容	時間
自己覚知	自分自身を知る・価値観の違いを知る	1h30
振り返り	6か月の振り返り 自分の現在地を考える 目標設定	1h
記録	記録時の視点・内容/ほのぼのの操作/事故報告書の記入例	1h30m
本人の気持ち・家族の気持ちⅡ	認知症も含め、再度想いを知る 令和6年度より追加したい項	1h
介護者・職員の気持ち	先輩職員の思いを聞く 令和6年度より追加したい項目	1h